

ものづくりの最先端で、
未来に貢献する製品開発を。

やりたいことを
やってみる!

三田 晃平 さん(1996年生まれ)

愛知県立新川高校 出身

中部大学 工学部卒業

ヤマザキマザック株式会社

丹羽郡大口町竹田1-131
https://www.mazak.jp

なるためには

●必要資格/特になし
●主な進路/高校卒業→工学系の大学で力学などを学ぶ→工作機械の製造会社に就職→商品開発の部署に配属

―学生時代

「小学校から野球を始め、高校までキャッチャーを担当していました。特に中学では野球部のキャプテンを務め、チームをまとめる難しさを体感。優しさとは厳しさのどちらも求められる環境で、協調性と忍耐力を養うことができました」

大学では何を学びましたか？

「もともと理系科目が得意で、中部大学の工学部へ進学。機械工学科で機械力学、材料力学、微分積分学などを学びました。現在の仕事で扱っている工作機械に出会ったのも大学の実習です。迫力のある見た目とダイナミックな動きに圧倒され、また、あらゆるものづくりの分野で使われる部品を加工する技術の精巧さに心を奪われました。研究室でも工作機械に関する研究をしました」

―仕事について

「在学中の早い段階から工作機械に関連する仕事を志望しており、教授の紹介で現在の会社に就職しました。入社後、最初の半年間はみっちり研修を受け、座学と実習で基礎を学習。レザ加工機の担当を経て、現在の部署に配属されました」

仕事内容を教えてください。

「工作機械の加工技術に特化したエンジニアとして、新機種を検証し、機械の精度を高める仕事を担当しています。世に出る前の製品を測定器にかけ、お客様の要求に合った部品を作るかをテストし、検証・評価します」

この仕事の醍醐味とは？

「検証により見つかった課題の原因を突き止め、設計担当と一緒に、なって改善案を練るのも私たちの役目です。目視では分からないほど緻密な部品の精度を高めるべく、手探りで答えを見つけていく作業はプレッシャーもあり、また、それでも毎回新たな課題に挑戦し、試行錯誤しながら解決していくおもしろさは、この仕事ならでは。たった数ミクロンの誤差でもお客様の要求を満たす部品でなければ意味がありませんので、機械の精度を向上させるべく、日々業務に取り組んでいます」

―やりがい

「工作機械は自動車のエンジンや建設重機だけでなく、ベットのボルト容器やボールペンといった身近なプラスチック製品ひいては医療機器など、幅広い分野で扱う部品の加工に利用されています。時には5年後10年後までも見据えた技術開発に携わることができたりと、ものづくりに最先端で関わっていることを誇りに思います」



―なるためには

「必要な資格はありませんが、工作機械の開発に携わる仕事をしたければ、工学部に進んで機械工学や力学などを学ぶといいでしょう。ほかにも化学や電気など、さまざまな理系学部出身のスタッフが活躍しています。向いているのは、ものづくりに興味があり、自分で考えて行動に移す能力がある人。学生のうちから勉強に限らず、趣味や部活動などさまざまなことにチャレンジしてみてください。そこで培った行動力は、社会に出てからきつと役立ちますよ!」

ありがとうございました。



自分史

18歳



22歳



25歳

大学の授業で工作機械と出会い、現在の道を目指すきっかけに。

現在の会社に入社。研修で工作機械の基礎を身につける。

先行開発センタに配属。新製品の解析評価担当として奮闘中。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





犯罪を未然に防ぎ、
陰ながら人々の生活を守っています。

山中 琴友季 さん(1996年生まれ)

愛知県立美和高校 出身
愛知学院大学 法学部卒業

愛知県江南警察署

江南市木質町大門23
<https://www.pref.aichi.jp/police/syokai/sho/kounan>

なるためには

●必要資格/特になし
●主な進路/高校卒業→大学進学→警察官採用試験に合格→警察学校へ入校→交番勤務

——学生時代

「幼少期は、バスケットボールやRPGゲームが好きだった記憶があります。警察官を志望するようになったのは、小学校2年生のときです。きっかけは、集団下校中に変質者に遭遇して怖がっていた私達に、女性警察官が優しく対応してくれた出来事です。それ以来、『将来は警察官になりたい』と思うようになりました」

大学時代に学んだことは？

「愛知学院大学法学部では、六法をはじめとする法律の基礎を学びました。特に印象に残っているのは、刑法の授業で実際の事件をもとにしたさまざまな判決ケースを学んだことです。今、警察官として法律用語を扱うことも多いため、大学での学びがとても役立っています。また、愛知学院大学では1年次から学内で公務員講座を受講できたため、予備校などに通わずに警察官採用試験の試験対策をすることができました」

——仕事について

「警察官採用試験合格後は警察学校へ入校し、体力づくりや勉強、訓練などに打ち込みます。警察学校では、厳しい環境の中で警察官として必要な知識や技能を身につけることができました。そして学校生活を過ごしていく中で、同期との強い絆が生まれました」



仕事内容を教えてください。

「地域課の警察官として、交番勤務をしています。交番を訪れた方に対して落とし物の対応、地理案内などのほか、110番対応やパトロールも担当しています」

最初に苦労したことは？

「警察官は、事件・事故の報告書をはじめ、書類を作成する場面が多いです。書類作成の際は、語彙力や文章力が求められるため、慣れるまでは苦労しましたが、裁判の判決に関わる重要な書類のため、現場の様子を正しく表現することを心がけてます」

——やりがい

「警察官には犯罪を未然に防ぎ、県民の方々の安全を守る役割があります。それは、日々の成果がはっきりと分かる仕事ではありませんが、陰ながら県民の方々の安全を守っていることをとても誇りに感じています。経験を通じて、いざ生活安全課で少年係を担当するのが目標の一つです」

——なるためには

「警察官は人を相手にすることが多い仕事のため、人と関わるのが好きな人に向いていると思います。また、女性の場合は、女性警察官の人数が少ないこともありますが、女性被害者への対応などで重宝されるため、活躍の場面も多くあります。学生時代は、勉強と体力づくりをしておくと思いいます。江南警察署では、警察官になりたい人に向けて、個別でミニ説明会を行っていますので、興味のある方はお気軽に参加してみてください！」

ありがとうございました。



自分史

7歳

↓

23歳

↓

24歳

女性警察官に助けられたことをきっかけに、将来の夢が警察官になる。

警察官採用試験に合格し、警察学校へ入校する。

交番に勤務し、パトロールや110番対応などで県民の安全を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



音楽を使った論理的な発達支援で、
子供たちの笑顔と成長を見守る。

自分も
楽しもう!!



深見 麻央さん (1993年生まれ)

栄徳高校 出身
名古屋芸術大学 音楽学部(※)卒業

名古屋芸術大学

北名古屋市熊野庄古井281
<https://www.nua.ac.jp>

なるためには

●必要資格 / 日本音楽療法学会認定音楽療法士
●主な進路 / 高校卒業→日本音楽療法学会認定校で必要単位を
取得→音楽療法士試験に合格→音楽療法を取り入れる施設等で
働く

——学生時代

「教室という空間が苦手、保健室にいることも多かった高校時代でしたが、交換ノートでさまざまな相談に乗ってくれた担任の先生には、今でもとても感謝しています。3歳から習っていたエレクティオンと、ドラマで興味をもった医療業界、どちらにも関係のある『音楽療法士』の仕事を知って、進路を決定。名古屋芸術大学を見学したとき、『この先生のもとで勉強したい!』という出会いがあり、迷わず進学しました」
大学時代のことを教えてください。
「卒業に必要な単位に加え、音楽療法士になるための必修カリキュラムがあり、思いのほか勉強に追われる日々でしたが、音楽・音楽療法の知識や技術だけでなく医学・福祉・心理学等、興味のある分野の学びはとても楽しかったです。また子供・成人・高齢者の3領域の福祉施設での実習も経験。4年生の冬に実施される音楽療法士の資格試験に向け、対策講座にも取り組みました。就職活動では、音楽療法を取り入れている施設をリストアップすることからスタート。施設に電話をかけ、自分を売り込みました」

——仕事について

「新卒で入社した会社は半年勤務した後、フリーランスとして独立。音楽療法教室の先生のアシスタントや、児童デイサービス施設の非常勤音楽療法士などを経験しながら、スキルアップしていき「**現在の仕事内容を教えてください。**」
「福祉施設や自宅での音楽療法教室で子供たちの発達支援に携わりながら、昨年恩師から声をかけていただき、現在は母校の名古屋芸術大学の音楽領域助手として働いています。音楽療法士の仕事は、よく『癒し』のイメージとして受け取られがちですが、実際には癒しだけでなく、音楽や楽器を用いて、子供の心身の発達や、言語・身体のリハビリと介護予防、またコミュニケーション等さまざまな方向から論理的に支援に取り組んでいます」

——やりがい

「二人ひとりに合わせて計画を立てて実践し、経過観察をするので、大変なことも多いですが、子供たちの笑顔を見られることが何よりのやりがいです。保護者の方の笑顔もそうですね。障がいをもつお子さんのお母さんたちは、子育てと療育で大変なので、音楽の時間だけでも楽しく笑ってもらえれば、と思います。子供たちの成長を保護者の方と一緒に見守って一緒にやるこぶことができるのも、この仕事の特権です」



——なるためには

「日本音楽療法学会の認定校で必要なカリキュラムを履修し、単位を修得して受験資格を得た後、音楽療法士の試験に合格する必要があると思います。でも何よりも『音楽を楽しむこと』が一番です。自分が音楽の楽しさを知らない、誰かに音楽のよさを体験させることって難しいですよ。大学でも、勉強が嫌にならないうちに、授業の中でセッションをしたり、音楽を聴きあつたりすることを取り入れて『楽しむ』ことの大切さを学びました。まずは自分が楽しんでください!」



22歳

↓

23歳

↓

28歳

名古屋芸術大学で音楽療法を学び、資格取得後、福祉系の企業に就職。

音楽療法教室やデイサービス施設など、さまざまな現場を経験する。

母校の大学で助手をしながら、フリーランスの音楽療法士として活躍。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



目に見えない商品を売るからこそ、
相手の立場に立って物事を考える。

人とのつながりを
大切に!

愛知銀行 大曽根支店

安達 弘将 さん (1994 年生まれ)

愛知県立小牧高校 出身
名城大学 経済学部卒業

株式会社愛知銀行

名古屋市中区栄 3-14-12 (本店)
https://www.aichibank.co.jp

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業 → 大学に進学し、経済について学ぶ → 内定後、証券外務員の資格を取得 → 銀行に入行 → 預金・融資業務を担当 → 渉外担当

—— 学生時代

「高校時代はテニス部の活動に明け暮れる毎日でした。2年生のとき、当時とても強かった先輩方があと一步のところまで県大会出場を逃したことに衝撃を受け、自分たちの代はこのままではダメだと火がつきました。朝練や放課後の練習を増やして本気で取り組んだ結果、県大会に出場。自分たちで勝ち取った勝利の味は、今でも心に残っています」

大学時代のことを教えてください。

「名城大学経済学部に進学し、簿記や経済の知識を学びました。大学のゼミで地域活性化について学ぶうちに興味をもったのは、地域に貢献する仕事でした。またアルバイトでの接客を通して、老若男女さまざまな人々と触れ合う楽しさを知りました。就職活動ではさまざまな業種の採用試験を受けましたが、座談会で触れた先輩行員の人となりに惹かれ、地域に根付く愛知銀行に就職を決めました」

—— 仕事について

「内定式の後、投資信託販売の資格である**証券外務員**の勉強を始めました。入行後は研修センターで業務に必要な知識を学びながら、店舗では預金係として窓口での口座開設や入金などの業務を覚えていきました。入社して6ヶ月ほど経つと、今度は融資係として法人向けの住宅ローンに関する事務と、個人向けの住宅ローンの受付を担当。一通り内勤業務を経験したのち、現在の渉外担当(営業)となりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「担当エリアのお客様のところに伺い、法人のお客様であれば融資をはじめとする事業に関するさまざまなご相談に、個人のお客様であれば住宅ローンや資産運用に関するご相談などにお応えしています。営業になった当初は『お金』という目に見えない商品売ることに難しさを感じていましたが、先輩や上司にアドバイスをを受け、さまざまなセミナーや勉強会に参加するなかで次第に自信を持てるようになりました」

大切にしていることは何ですか？

「相手の立場に立ち物事を考えること。ただ金融商品をご提案するだけではなく、その商品が本当にお客様に必要なかどうかを考え、何かお困りごとを抱えている際には、問題を解決に導くため、ときにはお客様同士を繋ぐサポートをします。さまざまなお客様に寄り添うため、普段からの情報収集や勉強は欠かせません」

—— やりがい

「長年愛知銀行と取引のあるお客様から、『安達くんが担当で本当に良かったよ』という言葉を感じます」



—— なるためには

「僕は大学の経済学部で学んだ簿記が役に立っています。銀行員の業務に必要な知識や資格は、入行が決まってから研修などのサポートを受けながら学ぶことができます。それよりも学生のうちはいろんな経験を積んで、さまざまな人と出会い、『コミュニケーション能力を高めてください。僕自身、大学の卒業旅行で友達と車で愛知から福岡まで旅行したことを営業の場でよく話しています。学生時代に楽しんで取り組んだ経験が、社会人になったときにきつと生きてくるはずですよ」

ありがとうございました。



22歳



24歳



27歳

地元で地域活性化に関わるため、愛知銀行に就職。預金係からスタート。

渉外担当として個人・法人営業を開始。勉強にも熱心に取り組む。

支店長になるため、知識と経験を増やし、一歩ずつ着実に努力する日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



目標は、お客様の美容を任せてもらえて
誰かに憧れられるスタイリスト。

夢を諦めない

恩田 和佳さん(1998年生まれ)

愛知県立佐屋高校 出身
中部美容専門学校 卒業

Good Morning UNITE

津島市永楽町4-29-1
https://crispmorning.com/unite

なるためには

- 必要資格 / 美容師免許
- 主な進路 / 高校卒業→美容専門学校に進学→国家試験に合格し美容師免許を取得→サロンに就職→アシスタントとして下積み→スタイリストデビュー

——学生時代

「佐屋高校の生活文化科フードコースでは週に2回調理実習があり、楽しく料理の知識や技術を学んでいました。美容師になりたいと思ったのは高校1年生のとき、普段からヘアアレンジやメイク、フアッションが好きだったので、それをいかせる仕事は何かなと考えたとき、思い浮かんだのが美容師でした」

専門時代のことを教えてください。

「国家試験の合格率が高く、トータルビューティーに取り組み、中部美容専門学校に入学し、楽しく充実した学生生活を送りました。印象に残っているのは、大きなフアッションショーでモデルとして舞台に立ったこと。チームで一生懸命取り組んだことは今でも良い思い出です。最新設備が整い、エステやまつげエクステなど、ヘア以外の美容についても学べたことが、サロンで働くようになった今、とても役に立っています。就職活動では、人柄や仲の良さを重視。Good Morning GROUPの求人チームの先輩と出会ったとき、『この人と一緒に働いたらさきっと楽しい!』と感じ、現在のサロンへの就職を決めました」

——仕事について

「入社後、最初の3ヶ月間の平日は、アカデミーでアシスタントの基礎、シャンプー、カラー、スタイリング、接客マナーなどを集中トレーニング。土日は学んだことをサロンで実践しつつ、掃除や先輩のサポートをしながら店舗業務を覚えしました」



現在の仕事内容を教えてください。

「現在はアシスタントとして、受付や先輩スタイリストのヘルプのほか、お客様へのシャンプー、パーマ、ストレート、カラー、ブローなどの業務を担当。お客様の髪をカットするスタイリストになるためには、いくつもある社内検定に合格しなければならず大変なこともあります。来春にはデビューできるよう、毎日営業後に自主練習に取り組んで頑張っています。また、夏からサロンでまつげエクステの事業が始まったので、アイリストとしてお客様にまつげエクステやまつげパーマの施術をする業務も担当しています」

大切にしていることは何ですか？

「幅広い層のお客様が来店されるので、きちんとした言葉づかいや身だしなみには気をつけています」

——やりがい

「まつげパーマのご指名予約が増えてきていることが、やりがいに繋がっています。お客様とのお話が盛り上がり、楽しく過ごしていたできたときはとてもうれしいですね」

——なるためには

「美容専門学校で学び、国家試験に合格して美容師免許を取得する必要があります。あとは美容に興味があること。人と話すのが苦手、ちょっと人見知り...という人も、自分の得意なことを伸ばして美容師として働いているので大丈夫ですよ! 楽しくてやりがいのあるお仕事なので、夢を諦めないで挑戦してほしいです! 私も誰かから憧れる美容を任せしてもらえるように頑張ります。高校生のみなさんも頑張ってください!」

ありがとうございました。



自分史

17歳 美容師をめざし、中部美容専門学校へ。トータルビューティーを学ぶ。

20歳 サロンに就職。最初の3ヶ月間はアカデミーでみっちり基礎を学ぶ。

23歳 スタイリストデビューをめざして、業務のかたわら自主練習に励む日々。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



さまざまなフィールドに属する人たちの
立場に立って物事を考える仕事。

できることから
始めよう!!

鈴木 優太郎 さん(1995年生まれ)

愛知県立西春高校 出身
中京大学 法学部卒業

北名古屋市役所

北名古屋市西之保清水田15
https://www.city.kitanagoya.lg.jp

なるためには

- 必要資格/特になし
- 主な進路/高校卒業→大学に進学し、公務員対策講座を受講
→市の職員採用試験に合格→環境課に配属

— 学生時代

「歴史が好きで武道に興味があったので、小学校5年生から剣道を始め、中学・高校でも剣道部に所属。高校生のときは日本史の先生になるのが夢でしたが、受験勉強を進めるうちに、選択肢を広げようと考え直し、法学部進学を決めました」

大学時代のことを教えてください。

「中京大学に入学し法律研究会に入りました。身近な判例について議論しあうサークルで、3年生のときには部長も経験。ゼミでは政治学を学び、選挙における有権者の心理などを考察しました。公務員を志すようになったのは1年生のころです。さまざまな企業や機関で働く卒業生から話を聞く講義のなかで、公務員の先輩の話を聞き、さまざまな立場の人に対して幅広く、公益性の高い仕事がしたいと思うようになりました。2〜4年生まで学内の公務員試験対策プログラムを受講し、無事に北名古屋市役所の採用試験に合格することができました」

— 仕事について

「環境課に配属されて最初に任せられたのは、地球温暖化対策設備設置費補助金の業務でした。蓄電池や太陽光パネルを設置する方からの申請に対し、設置場所や設備などが補助内容に適合しているかをチェックして、交付決定をするという仕事です。同時に入庁1年目の4月と10月には職員合同研修に参加し、公務員とはどうあるべきかなどの基礎的な知識を学びました」



現在の仕事内容を教えてください。

「2年目から現在まで、犬の登録事務や、野良猫対策の『地域猫活動』の支援を担当。放っておくと増えてしまう飼い主のいない猫に対して、手術を施したり、餌とトイレの世話をしたりする市内ボランティアの活動をサポートしています。地域の方々の理解が不可欠なので、地域とボランティアの橋渡しのため、市民への周知と啓発を実施。また、これは1年目から変わりますが、市民の方からのお困りごと(雑草・騒音・振動・臭い・野焼きなど)の相談に対して、助言や指導をすることも環境課の主な業務の一つです」

大切にしていることは何ですか？

「相手の立場に立って、話を聞くこと。聞き上手になることです」

— やりがい

「以前、何年も雑草が放置され、近隣住民の方々が迷惑しているというご相談を受け、民生委員の方に協力いただきながら問題を解決できたことがあります。こんなふうにご相談いただいたことが解決したときは、やりがいを感じますね」

— なるためには

「公務員試験合格は必須です。また公務員の仕事は条例や規則などと深く関わってくるので、僕が法学部で法律に馴染んでいたことはすごくプラスになっていると思います。市役所職員の仕事は、本当にさまざまな人と関わる仕事なので、学生のうちから人と接する機会を増やして、経験を積んでほしいですね。個人的には、学生時代にいくつものアルバイトを経験したことで、さまざまなフィールドに属する人たちの立場に立って物事を考えることができるようになりました」

ありがとうございました。



自分史

19歳

↓

23歳

↓

26歳

大学の講義で現役公務員として働く卒業生の話を聞き、公務員を志す。

公務員採用試験に合格し、北名古屋市役所に入庁。環境課で働き始める。

広い視点で物事を見ることができるようになり、経験を積み日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

